

# 飯南

## いいなん

- 平成19年度の町予算など
- 一般質問
- 委員会報告
- 飯南町への想い（寄稿）

**飯南町議会** 島根県飯石郡飯南町下赤名890番地  
飯南町議会事務局 TEL:0854-76-2190 FAX:0854-76-2867

第9号

平成19年4月20日



### 良い環境づくりは自分たちの手で

水ぬるむ春暖の日、町内各地で生活水路や農地水路の環境整備の共同作業がみられました。住み良い環境、暮らし良い地域は自分たちの手で創出していこうとする自治振興組織が、いま町内各地域で活発に活動しています。こうした活動は、地域の子供たちの目に大人の姿として映され、受け継がれていくことにもなるでしょう。



かつて熊野神崇敬者がいたのであろうか  
その権現山麓に架かる「権現大橋」は白く際立つ。  
山紫水明の地志津見の里に  
今年も春がやってきた。  
山々に囲まれた中山間地域には  
大きな発展というものは望みにくい。  
ただ、小さな変化を大切にしていこう。  
そんな粘りみたいなのは確かにある。  
変えてはいけないものも知っている。  
どつしりと腰を据えたこの橋は  
しっかりと暮らしている人々の  
心意気のシンボルでもあるようだ。

志津見地内の権現大橋

志津見地内から神戸川を望む



一般会計予算は  
**67億9,858万円**

平成19年度 飯南町の総予算は  
**105億777万円**

(1,000円未満は削除)

各会計	予算総額
一般会計	67億9,858万円
特別会計	
国民健康保健事業	7億3,395万円
老人保健事業	9億8,966万円
介護保険サービス事業	2,554万円
簡易水道事業	3億1,005万円
下水道事業	4億5,638万円
住宅新築資金等貸付事業	127万円
飯南町病院事業	11億9,229万円
合 計	105億777万円

3月定例会は、3月6日から3月22日までの17日間の日程で開かれました。  
今定例会には、条例関係23件、予算関係16件、その他10件が提案されました。また、追加により副町長の選任についてなど同意について2件、補正予算について1件、議員からは議員報酬及び費用弁償の支給額の特例に関する条例の制定について2件が提案され、審議の結果いずれも原案どおり可決されました。

**3月定例会で可決された主な議案は次のとおりです。**

- 同意** 副町長の選任についてなど二件
- 議員発議** 議員報酬及び費用弁償の支給額の特例に関する条例の制定など二件
- 条例関係** 飯南町副町長定数条例の制定など二十三件
- 予算** 平成十八年度飯南町一般会計補正予算（第六号）など十七件
- その他** 公の施設（下米島多目的集会施設）の指定管理者の指定についてなど十件

昨年**4月**より**減額報酬**継続

また、新たに今年度4月から費用弁償は定例議会および臨時会には支給しないこととしました。

町3役と議会議員に対する減額支給が4月より引き続き実施されます。

	現 行	改 定
議 長	298,000円	283,000円
副議長	246,000円	234,000円
委員長	215,000円	204,000円
議 員	205,000円	195,000円
町 長	730,000円	620,500円
副町長	620,000円	558,000円
教育長	560,000円	504,000円

加田の湯前の川に休憩台を作りました



**請 願**

【請願者】  
東京都文京区湯島二一四一四  
全国労働組合総連合  
議 長 坂 内 三 夫  
外二名

【内 容】  
安心・安全な公務・公共サービス拡充を求める請願

【審査委員会】  
総務厚生常任委員会  
【審査結果】  
継続審査

【請願者】  
仁多郡奥出雲町下横田四四九番地  
雲南旅館組合  
組合長 渡 部 一 夫  
外一名

【内 容】  
旅館・ホテルの経営改善に関する請願

【審査委員会】  
教育経済常任委員会  
【審査結果】  
継続審査

**陳 情**

【陳情者】  
松江市大正町四四二一六  
島根県医療労働組合連合会  
執行委員長 有 田 周 二

【内 容】  
安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師の増員を求める陳情

【審査委員会】  
総務厚生常任委員会  
【審査結果】  
継続審査

【陳情者】  
松江市大正町四四二一六  
島根県社会保険推進協議会  
会 長 池 淵 栄 助

【内 容】  
福祉医療費助成事業の拡充を求める陳情

【審査委員会】  
総務厚生常任委員会  
【審査結果】  
継続審査

【陳情者】  
松江市嫁島町九一三五  
島根県保険医協会  
会 長 古 沢 正 治

【内 容】  
リハビリテーション医療の日数制限撤廃の意見書採択を求める陳情

【審査委員会】  
総務厚生常任委員会  
【審査結果】  
採 択



3月議会が開催

# 3月定例会 町政を問う 一般質問



**永井章議員**  
この路線は、志津見ダム事業により道路が整備されています。しかし、新設道路終点から角井連担地までが未改良であり、冬期間における交通難所のため早期改良は。

**山崎英樹町長**  
ダム事業で、改良を国交省へ要望したが、地区外のため整備は不可能です。改良整備は相当額の費用もかかり、今後の道路整備計画のなかで財政状況を考え、検討します。



町道角井境線



**Q 地区担当制のあり方は住民と役場をつなぐ地区担当制を**

**瀧尻行雄議員**  
本町では、各自治区へ職員を配置されていますが、地区住民は担当者にはリーダーとして活動を希望しています。地域では集落の活性化や農業分野等重要な課題があり、担当者一

△が積極的に話し合い、地域と行政との潤滑油となる担当制の進め方は。

**山崎英樹町長**  
住民と行政が協働のまちづくりと、地区の活動や問題解決に共に考えながら自主的な地域づくりを目的に設置しました。これまで、地区振興計画等に携わってきたま、真に住民の皆さんと役場をつなぐ地区担当制として育てていきます。



**Q 町道松本頓原線の改良は今後の改良整備で**

**永井議員**  
国道五四号佐見地内から加田の湯方面へ進入する道路が大変危険です。国道より右折進入路と周辺の改良整備が緊急です。関係機関へ強く要望すべきでは。

**山崎町長**  
国道入口付近は危険なところであり、安全対策を国交省へ要望しています。進入路の新設は町負担であり、松本頓原線の改良整備に合わせ、今後の道路整備計画で検討します。



**Q 本町の直売所戦略は生産の取組みに応じ拡大を**

**門真一郎議員**  
農家所得向上のため、直売所の役割は重要です。赤名の直売所の新設、もりもり奥出雲の山陽エリアへの新たな拠点づくり、頓原・赤名・布野の直売所の連携を一体的に行い、将来にわたって所得確保の考えは。

**山崎英樹町長**  
赤名直売所は、テナ市の試行の結果により検討します。三つの直売所の連携は、高速道路の完成までに国道五四号の魅力を高める必要があります。国交省も交えて進めます。新たな拠点づくりについては、阪神エリアにもう一店舗予定があります。今後、生産への取り組みを促しながら、広島圏域も視野に入れ販路拡大に努めます。



町内の直売所「ぶなの里」

**Q 森林・林業再生計画は林業の低コスト化を**

**長島正一議員**  
地球環境が問われるなか、森林の役割が大きく見直されてきました。国・県では、「自分の山再発見運動」「百年の森づくり」が提唱されています。町の里山再生の実現に向けて、実施計画と中長期計画の策定および、森林担い手対策は。

本町の現状は不十分でありますが、森林組合を担い手と位置付け、林業の低コスト化に向け、森林情報の一元化や所有者の要望に応えるよう体制整備を行い、計画の具体化を図ります。



**山崎英樹町長**  
地球温暖化により山林の持つ機能が重視されています。

### Q 国保料等の値下げは

難波伸一郎議員  
国保料等、公共料金を軽減することで、将来に対する安心と人口増を求めるべきでは。

山崎英樹町長  
本町の一人当たりの医療費は高額です。国保料は、持続可能な国保制度を維持する上で県平均水準にしました。  
人口増加については、定住推進条例で提案しています。

### Q 道路パトロールのあり方は

難波議員  
住民からパトロールの実態についての意見があります。  
町民から直接意見を聞く必要は。

山崎町長  
道路交通パトロールによって、作業・対話することで住民に身近な役場となるようさらに徹底します。

### Q 例規集の一般公開を

難波議員  
電子化した例規集を一般公開すべきでは。

山崎町長  
例規は電子化してお

り、職員は庁内LANを通じて利用しています。  
例規集はホームページに載せるよう研究しています。

### Q 保健師による指導を

難波議員  
保健師による直接訪問での指導を一層進める考えはないか。

山崎町長  
保健師の家庭訪問は検診等で難しいのが現状です。  
今後、仕組みづくりを検討します。

### Q 病院の救急対応は

難波議員  
救急車で搬入される人は救急患者で、一般車両で搬入される方は救急患者にならないと聞いていますが、小さな町での事でもあり、臨機応変の対応が必要と思うが。

山崎町長  
開業医、飯南病院、診療所へまずは連絡を

とって、医師の指示を受けて最寄りの医療機関へ行っていただきたい。  
飯南病院の場合、通常午前中の外来診療後、午後は老人福祉施設の定期診療、在宅訪問診療に出かけていくために、院内に残る医師は一名です。  
救急患者には、今後とも対応します。

# 3月定例会 町政を問う 一般質問



### Q 自治区の再編は

本田哲三議員  
頓原地域の十四自治区を六組織に編成した経過と今後の自治、行政連絡組織のあり方は。

山崎英樹町長  
高齢化人口、集落機能の低下等を考えるとき、広域的な自治組織、地域間の連携、新たに発生する課題に対応していくために自治区の再編を提案し、行政連絡組織として六つに統合しました。

自治区長の位置づけは、町で定めた自治区長等設置規則に基づき運営にあたります。

頓原の泉川地区より大万木を望む



### Q 農村、農業政策は

本田議員  
平成十九年度より新農業政策が始まります。集落の環境、福祉、暮らしなどの課題に対応していく集落、地域づくりビジョンと推進対応は、積極的な行政指導を。

山崎町長  
新農業政策は農村環境に対する評価が高まり事業を実施する理念があります。  
現実には集落の組織、高齢化等の課題もあり、集落が地域を守る意識を持つて農業経営の再構築をする必要があります。  
今後とも自治組織、職員体制の充実を図り農業振興、地域づくりを進めます。

### Q 担い手の育成と将来展望は

本田議員  
法人化は、一長一短があるが認定農業者の地域内調整や、条件を満たした集落営農、特定農業団体の育成は急務であるが、その施策は。

田原俊雄農林課長  
集落営農でも認定農業者に耕作を担ってもらっています。

作業効率の面から地域内調整は今後も進めます。  
担い手育成の支援策は産地づくり交付金で集落の組織助成事業により、地域の話し合い等推進しています。  
今後経理の一元化、法人等できない集落は、JAの受託制度で対応します。

町民まつりで ヤマトイモ料理





〈資料写真〉

**Q**クマの捕獲駆除は現場に即した対応を  
**A** 現場に即した対応を  
石橋宏議員  
全国で、昨年クマの出没による人身被害が多発しており、死亡者もあります。

鳥獣保護法は理想であるが、人命を守ることに大切であります。本町も通学路や人里等へ出没しております。人身被害を防ぐため、関係機関へ駆除できるように強く求めていくべきです。



**山碕英樹町長**  
県の発表では、西中国山地で五二〇頭のクマが生息しています。保護管理計画が策定されているなか、本町でも多くの出没情報も寄せられております。しかし、被害が発生しない場合は捕獲が許可されていません。人身被害が起らないよう、関係機関と連携し、現場に即した対応をしていきます。

# 3月定例会 町政を問う 一般質問



志津見ダム工事現場

**Q**町道松本頓原線の改良は重要路線として改良を  
**A** 重要路線として改良を  
石橋議員  
この町道は、特に手倉地内で未改良部分があり、交通に支障を期しています。両国道をつなぐ重要幹線として、早期改良を。

**山碕町長**  
国道五四号と一八四号をつなぐ総延長二キロメートル余の幹線町道であります。合併前より、旧両町を結ぶ重要路線として位置付けています。長期的な道路整備計画を策定し、改良年度等、具体的な検討をします。

**Q**いじめ対策、本町の取り組みは  
**A** 学校、家庭、地域の協力で  
石橋議員  
昨年来いじめ問題が頻りに報道されています。問題解決のためにも自分自身もつと強く、何事にも耐える取り組みが大切です。本町の現状と取り組みは。

**中 稔 教育長**  
現在、各学校では深刻ないじめは発生していませんが、可能性は否定できません。学校、家庭、地域が協力し合っていくことが大切です。時には厳しく指導し、耐える力をもった強い子供に育てていきたいと考えています。

元気に登校する子供たち



歌声も元気よく響いていた来島保育所の入所式

**Q**保育料への影響は  
**A** 影響しない措置を  
伊藤好晴議員  
定率減税の半減は、保育料に影響します。本町では、国の基準より低く設定されているので、引上げが予想されません。国においては、所得基準額の変更を地方自治体に通知しております。本町の対応は。



**Q**多重債務の救済は  
**A** 相談窓口で対応を  
伊藤議員  
格差社会が問題とされるなか、多くの多重債務者が生まれています。昨年の国会で貸金業規制法改正案が成立し「利息制限法」が改正されました。自治体として、救済方法は。

**山碕英樹町長**  
本町の保育料は、総額では国の基準の七十%となっております。定住、子育て支援の観点から、規則の見直しを行い、保育料に影響しない措置を行います。

**山碕町長**  
現在、消費者研究協議会を設置し、被害の未然防止や相談窓口の対応に努めています。救済については、専門的な法律の知識も必要であり、県内の相談窓口へ案内をしています。処理等の総合的な体制については、今後研究をします。

副町長？



「助役」から「副町長」へ名称が変わります。

「地方自治法」が改正され、平成19年4月1日から「助役」は「副町長」に変わりました。これは、これまでの助役の職務に加え、町長に次ぐ立場から町長の意向・判断の範囲内において、必要な政策判断等を行うことが明確化され、権限の強化がなされました。

# 一般質問



## A Q 総合的な交通体系を 交通システムの再検討は

**安部朋次議員**  
平成十七年設立された公共交通等運行協議会において協議され、町営バスの見直しが行われました。

今の社会状況変化のなか、児童の安全、保護者の負担など考慮に入れ、スクールバスを含めた町全体の交通システムの再検討を考

**山崎英樹町長**  
公共交通運行協議会を設置し、ルートの変更、バス停の新設、時刻の変更等見直しをしました。

今の運行形態は疑問もあり、抜本的な見直しの検討を指示しました。

総合振興計画のなかで、生活支援、移送サービス等を担う自治区、NPOも含めた幅広い交通システムと、児童・生徒にも視点を当てた総合的な交通体系を考えます。

## 総務厚生常任委員会 出納室、企画情報室の2室を設ける条例改正。

「課設置条例の一部を改正する条例について」を可決しました。

この4月から、自治法改正により会計管理者を設置することとなり、一般部局とは別に組織を置く必要があり、「出納室」を設けました。

また、総合振興計画のプロジェクトを推進していく重要な役割を担う「里山コミッション(仮称)」の設置が必要であることなどから「企画情報室」を設け、組織体制の強化を図るための条例改正です。

## 教育経済常任委員会 定住及び雇用促進に向けて条例制定。

「定住及び雇用促進条例の制定について」を可決しました。

これは、過疎化の進行とともに人口の減少や少子高齢化が進んでいるなか、人口の減少を最小限に抑えて地域の活力を維持し里山再生を図るため、Uターン者の受け入れなどの定住促進、新たな起業による雇用促進は不可欠であることから、これらの施策を積極的に推進、支援し、将来像として掲げる「いのち彩る里 飯南町」の実現を目指すための条例制定です。

## 常任委員会報告



## 行財政調査特別委員会中間報告

行財政調査特別委員会は、平成18年12月22日第6回飯南町議会定例会において、本町の危機的な財政状況から行財政改革を推進するための調査研究を目的として設置されました。

調査にあたっては、第三セクターの経営・議会運営・その他の調査等を、本町が目指す財政運営の健全化に向けた行財政改革の方策を探るため調査研究を行うこととし、これまでの琴引フォレストパークの決算状況等を調査するなかで、スキー場と「山荘」及び「やまなみ」については、個別に考えべきであると判断し、会社のあり方を含めたスキー場のあり方についての調査研究を行ないました。

スキー場については、スポーツ振興の場や地域の活性化と雇用の確保などの経済効果を見込んでいましたが、累積赤字が増大し、平成16年度に作成された再生スキームにより資金投入と財産処分等を行い、再建が目指されてきました。

しかし、ここ2～3年の利用客の減少やスキー離れもあり、再生スキームに沿った収益を上げることが困難となっています。町にとっては交流人口の拡大を図る上では重要な施設であり、地域スポーツの振興を目的とする施設ではありますが、継続することは更に相当の町費負担が求められることとなります。

また、平成16年3月琴引フォレストパークと三井住友建設(株)及び頓原町との債権債

務の確認並びに融資実行等についての基本合意が行われたなか、明らかにされていない三井住友建設(株)と琴引フォレストパークとの覚書による1億9千万円の償還は、琴引フォレストパークの経営を著しく圧迫しており、再生スキームに基づく町への返済が実質的に不可能となっており、結果的に多大な町(住民)負担が求められると認識したところです。

従って、当委員会としては、先行きに大きな不安要素を抱えるスキー場については、来シーズンまでに閉鎖する考えで取り組むべきであるとの認識が大勢となっています。

以上、これまでの審議を経て、3月定例会において取り急ぎ対応が必要と考えられる第三セクター「琴引フォレストパーク」に関わる中間報告を行いました。



琴引フォレストパーク



## 議会用語の ひとことメモ

議会には、いろいろな専門用語があって皆さんには馴染みのないものが多いと思います。ほんの一部ですが、本紙に掲載している用語の解説をいたします。

### 同意とは？

町長が人事選任する際に、議会としての意志の決定を求めることをいいます。同意の対象となるのは、副町長や監査委員、教育委員会委員などの人事です。今回は副町長などの人事について同意が求められました。

[本紙3P・8P参照]

### 議員発議とは？

議員が議事の対象となるべき問題等を議案として提出することをいいます。つまり議員自らが自発的に議題としてあげるということで、今回は議員報酬の減額や定例議会・臨時会開催時での費用は支給しないということを行いました。[本紙3P参照]

### 請願とは？

町の仕事に関することや地域の身近な問題について、「～してほしい」と議会に対し文書で意見や希望を陳べることをいいます。この請願には、必ず請願内容の主旨に賛同する紹介議員の署名が必要となります。なお、議員の紹介のないものを陳情といえます。[本紙2P下段参照]

来島ダム湖



加田城「二の丸跡」より琴引山をみる



「飯南町へ住んで」

飯南町下赤名 三重野 三義

大万木山、県民の森、神戸川の源流、そして赤名峠をはじめとする歴史に恵まれたこの町に住み、はや五年になりました。この間、多くの方々に助けていただき、ありがとうございました。とうとういよいよ、四季折々の草木、花、一瞬見かける野性動物、愛らしい野鳥のさえずり、

わくわくする発見がいっぱいです。この春には川岸で採った「フキノトウ」の「佃煮」に自己満足、次は汗とともに少しずつ耕してきた「マイ・ファーム」の「菜の花」の「おひたし」「一夜漬け」を夢にみています。このたびは森林セラピー

基地に認定された「県民の森」を町民の保養、健康増進に、そして癒しを求める県内外のお客様に中国山地の自然を案内し、また、銀山街道を語り、自らも癒される生活、活動をしていきたいと考えています。都会暮らしの団塊の世代は、みどり豊かなふるさと「飯南町」へ帰ってくるよう呼びかけたいものです。



大万木山にて



孫と遊ぶ



全国奨励賞に

第21回町村議会広報全国コンクールにおいて、町議会発行の議会報「飯南」（平成18年4月20日発行第5号）が奨励賞を受賞しました。

この全国コンクールは、各町村が過去1年間に発行した議会広報紙を対象にされたもので、全国から204作品の応募があり、最優秀賞1、優秀賞3、入選6、奨励賞10が選ばれ、そのなかで奨励賞に選ばれました。

この受賞を機に、議会広報編集委員会として、益々の紙面充実に誠意努力いたします。

編集後記

積雪もなく、暖冬といわれる過ごしやすい冬が、あつという間に過ぎてしまいました。

春を迎え、こぶし、椿、桜の花も例年より早く咲き、農家では種まきの準備に追われているなか、四月四日には冬に後戻りしたように雪やアラレで野山が白くなり、今年は何かあるのではと心配されています。

三月議会では、特に琴引フォレストパークについて、暖冬の影響によりスキー客の減少などで前年を下回る状況や、病院事業も一般会計から三億円が長期貸付となり、不良債務圧縮等、財政の厳しさが審議的になりました。

合併して丸二年が過ぎ、旧両町の意識も徐々に馴じんできていますが、三月議会では九名が一般質問に立ち、様々な立場からの質問が出され、町長の答弁を求めました。

財政の厳しいなかで、攻めの質問から提案型の質問へと変わりつつあります。

「わがまちは美しく」をテーマとして、町民の皆様方と共に明るいまちづくりへの知恵を出し合い、小さなまちでも「きらりと光る住みよいまち」、「全国へ誇れるまち」を目指していきたいと思えます。

議会広報編集委員会